科学的に探究する資質・能力の育成を目指す学習過程　（授業展開案）

|  |
| --- |
| 　単元名： |
| 　本時の目標： |
|  | 学習過程（探究の過程） | 理科で育成すべき資質・能力 | 生徒の活動 | 教師の働き掛け○主体的な学びにつながる◎対話的な学びにつながる●深い学びにつながる |
| 課題の把握（発見） | 自然事象に対する気付き↓課題の設定↓ | ・主体的に自然事象と関わり、科学的に探究しようとする態度 |  | ○十分な予備実験を行う。○できるだけ多くの生徒が実験を行えるように必要数をそろえる。○学習問題に迫るような事象を提示する。 |
| ・自然事象を観察し、必要な情報を抽出・整理する力 |  | ○気付いたことを発表させ、出てきた情報を整理する。 |
| ・抽出・整理した情報について、それらの関係性（共通点や相違点）や傾向を見いだす力 |  | ●既習事項や生活体験を踏まえた見方・考え方を想起させる。 |
| ・見いだした関係性や傾向から、課題を設定する力  |  | ◎まずは個人で、次にグループで調べたいことを考えさせ、発表させる。◎生徒によって学習問題を立てさせる。 |
| 課題の探究（追究） | 仮説の設定↓（見通し）↓検証計画の立案↓観察、実験の実施↓結果の処理↓ | ・見通しをもち、検証できる仮説を設定する力  |  | ◎まずは個人で、次にグループで根拠を基に仮説を設定させる。 |
| ・仮説を確かめるための観察、実験の計画を立案する力  |  | ◎実験の方法を考えさせ、発表させる。●「何と何を比べるのか」「独立変数と従属変数は何か」「変化させる条件と変化させない条件は何か」など、使えそうな考え方はないか想起させる。 |
| ・観察、実験の計画を評価・選択・決定する力 |  | ◎グループで検討させる。・教師による説明：（実験の注意点、安全面も含む） |
| ・観察、実験を実行する力  |  | ○できるだけ少人数で実験させる。 |
| ・観察、実験の結果を処理する力 |  | ○記録のまとめ方を考えさせる。 |
| 課題の解決 | ↓考察・推論↓（振り返り）↓表現・伝達↓次の探究の過程へ | ・観察、実験の結果を分析・解釈する力・主観的な感情や思い付きではなく、観察や実験結果から得られた事実を基に合理的に判断する態度・情報収集して仮説の妥当性を検討したり、考察したりする力 |  | ・結果と考察を書き分けさせる。○仮説に立ち返らせ、根拠を基に論じさせる。○学習問題に対応する考察を行うように声掛けを行う。◎考察を他者と交流させ、より確かな考えに高める。○実験できない場合、インターネット等で調査させ、論理的に検討を行わせる。 |
| ・全体を振り返って推論したり、改善策を考えたりする力 |  | ◎実験がうまくいかなかった理由を基に改善策を話し合わせる。 |
| ・課題解決に向けて様々な視点で考えながら、主体的に継続して取り組む態度・新たな知識を習得する力 |  | ・新出用語の整理をさせる。 |
| ・習得した知識を事象や概念等に対して再構築する力・次の課題を発見する力 |  | ●導入での提示した事象について、習得した知識を使って説明させる。●ワークシートに「今回の実験から、もっと調べようと思ったことはないかな？」などの記入欄を設ける。 |
| ・学んだことを次の課題や、日常生活や社会に活用しようとする態度  |  | ◎日常生活に今回の学習内容を活用した道具・現象はないか、まずは個人で、次にグループで考えさせ、発表させる。 |
| ・考察・推論したことや結論を発表したり、レポートにまとめたりする力 |  |  |